

山行報告書

山行管理部

ウィークデイ シブレ山 5月19日 CL重岡、SL楠本 参加11名
神戸電鉄 木幡駅 9:30 ~ シブレ山山頂 11:20 (昼食) 13:15 木幡駅(解散)

コナラの林の中を通り、登山道には花の終わったショウジョバカマと新緑のサンキライが続いていました。蛇に3度も出会うというアクシデント。
天狗岩からは、遠く海が見えていました。豊かな里山の山行でした。

(楠本 記)

公開山行 二上山 5月22日

CL松山、SL石野(明) 島袋 松本光) 参加13名(内一般1名)
近鉄二上山駅 9:20→雄岳→11:00→雌岳 11:50(昼食クラブ紹介)→
岩屋 12:45→祐泉寺 13:10→傘堂 13:40→当麻寺 13:50→当麻寺駅 14:20

朝から快晴、残りツツジが咲いて夏日ながらふく風はさわやか目に青葉新緑が美しい万葉集にある神聖な山に何度でも行きたくなります。

帰り道のダイトレ出発点 当麻寺付近もここ10年くらい参加していないので、ことさら懐かしく思った次第です。

(石野明 記)

サロン 檀原神宮周辺 6月4日 (土) CL森下 SL八木 参加12名
阿部野橋 10:00→檀原神宮 10:20→久米寺 10:40→懿徳天皇陵 11:30

→深田湖 12:00 昼食→檀原神宮 12:50→神武天皇陵 13:20→綏靖天皇陵 13:40→考古学博物館 15:10 解散

古の地檀原、駅からまず久米寺、久米仙人で有名ならしい(仙人となり飛行中に吉野川で衣を洗う若い女性の脛を見て、墜落したそう)

広大無辺の森は、神宮始めいくつもの御廟や遺跡などが有る三つの御廟を参拝して、森を抜け考古学博物館に入る。

出雲の至宝の特別展、奈良県の遺跡からの出土品、旧石器時代から室町時代の膨大な数の展示品には驚き感動と共に日本の歴史の始まりを垣間見ました。

(宇野 記)



ウィークデー 山の辺の道 6月7日(火) CL杉谷、SL五十嵐 参加15名
近鉄桜井駅9:30集合。

厚い雲に覆われてこの時期にしては少し肌寒く感じながら桜井駅を出発。途中しなくてもいいんじゃないという声のなか久しぶりに山筋体操をしました。久方ぶりの出会いにおしゃべりの花をさかせながら、万葉の面影を残す古道をのんびり歩きやがて大神神社へ。神社ゆかりの御神花ささゆりはまだ咲き始めのためちらほら。少しがっかりしたが気を取り直して檜原神社の先の休憩所で昼食。山の辺の道といえばお買い物ツアーというほどあちこちに100円ショップが開かれており楽しい山行なのだが、今の時期はなにもなくさびしかった。崇神天皇陵をへて柳本に3時15分頃着。

途中ささゆりにまどわされてコースがわからなくなったり、いろいろご迷惑をおかけしましたが、辛抱強くご協力下さりありがとうございました。

(五十嵐 記)

ターブルドート 星田11座&星のブランコ 6月19日

CL松本(公) SL豊村 参加14名

梅雨とは思えぬ快晴の下、私市を出発する。ほぼ計画通りに進行。

星田11座は近郊の山とは思えぬほどアップダウンがあり変化に富んでいる。各ピークに1は山頂名と標高がかまぼこ板よりチョット大きめの板に記されている。

さながら千米級の縦走路を5分の1に縮小した感じだ。やまびこ広場でゆっくり昼食。星のブランコを渡って14時、私市に戻り解散。

お疲様。

(豊村 記)

有志山行 5月24~25日 明神平・檜塚・薊岳 テント泊 CL乾 他5名

5/24 大又林道終点 P9:30→10:38 明神滝→11:30 明神平→12:43 明神岳→13:37
檜塚奥峰→14:07 檜塚→檜塚奥峰→明神平 15:20

5/25 明神平 6:25→6:42 前山→7:45 薊岳→笹野神社 10:50→大又林道 P

6月末に行く吾妻山縦走の訓練山行として、明神平で歩荷・テント泊をしてきました。明神平は登山口から2時間ほど頑張れば到着でき(標高差650m位)、水場も近く(5~6分)、テント食料等を担いでの山行が久しぶりの私にはちょうど頑張れる範囲内でした。台高山脈がシロヤシオの見ごろとの事で、それも楽しみの1つ。ブナとオオイタヤマゲツの新緑の中を檜塚目指してすすむが中々お目当てのシロヤシオが出てこなく、檜塚奥峰近くでやっと葉っぱを確認、すると目が慣れたせいもあり「イヤ!あるわ、ここにもあるわ」と歓声。しばし写真撮影タイム。檜塚

奥峰では大普賢はじめ、遙か台高山脈を見渡すことが出来た。テン場に戻り、日帰り組の2人をお茶タイムで見送り、早くも夕食タイム、食事に凝る人凝らない人それぞれ。日が暮れるまでの長〜い時間、ビールを持って上がれなかったことが悔やまれるが、体力を考えると仕方がないと諦める。ダウンなどの防寒具はあったもののやはり夜中は冷えた。翌日は2つ目の目的、薊岳を目指して頑張る。薊岳は細い尾根、木の根と岩場あり。頂上はシャグナゲがいっぱい、しばらくはシャグナゲロードを楽しめた。1250m位のピークを過ぎると檜と杉の植林の中の斜面下りとなった。ここから2時間弱、目につくものは二人静ぐらいで、切り倒されそのままの木、木、木と背中への歩荷の重さにめげそう。下山場所の笹野神社で私の歩荷は終了、車を駐車場まで取りに戻ってくれる男性陣の荷物番をさせてもらった。ここから駐車場までの時間が、歩いて1時間以上。このため明神平から薊岳への周回は敬遠されるが、今回明神平でのテント泊をすることになり念願かなっての、薊岳登頂となった。1泊2日と近場でゆったりとした山行でしたが、私にとっては辛くもあり、楽しくもあり、とても役に立つ歩荷山行となりました。感謝！！（願野 記）

